

⊗



info

⊗

スペシャル拡大版

連載企画

“一丁嚙”が行く！ 第18回：おふらインチョット その2

皆さん、こんにちは、一丁嚙（いっちょかみ）です。
 前回、おふちょについて書いたところ、興味を持って下さった方がいらっしやいましたので、もう少し詳しく書きます。
 おふちょは毎月1回開催しています。開催日は固定していません（毎月第〇、△曜日というような設定はしていません）。要は一丁嚙の都合がいい日に設定しているだけ（笑）
 毎回おふちょの開催に協力くださる方々をお世話役としてお願いしており、そのお世話役さんが自分の担当月のスピーカーを探してきてくださいます。
 最近のスピーチテーマを上げてみますと、

- ～知っているようで知らないメンタルヘルス～
- ～もう常識？！マナーとしてのネイル“これであなたも手元美人”～
- ～日本における中小企業の位置づけについて考えてみよう～
- ～年金をもらい忘れないために一特別便がきたら？～
- ～島原太夫が語る「京の花街物語」～
- ～不動産を取り巻く環境変化 私たちのビジネスモデル～
- ～短歌を楽しみませんか？～

などなど……

いかがですか？ おもしろそうなテーマがありましたか。
 当日は、18:30 スタートで19:00頃まで参加者の自己紹介・近況報告、19:00頃から約1時間、スピーカーによるお話、20:00頃から30分程度、質疑応答や事務連絡などをして、ここまでで第1部終了。（参加費は500円）
 20:30頃から第2部スタートということで、ビールと料理が出てきます。（第1部・第2部参加で4,000円）スピーカーを囲みながら、あるいはあちこちでワイワイと22時頃までやっています。
 おふちょが縁で新たなビジネスに結びついたという例もあります。人脈を拡大するばかりではなく新たなビジネスチャンスをつかむ場としても、おふちょは役立っているのかも知れません。ご興味がお有りの方は是非一度ご参加下さい。（どなたでも参加可能）今後の開催予定は、8月5日（水）、9月7日（月）、10月7日（水）です。
 参加ご希望の方は、yoneda@sb-clinic.com までメール下さい。



特集

ケータイNow! 厳しいau

ケータイ電話業界は相変わらずDOCOMOが契約者数ではぶっちぎりで1位をキープし、auがDOCOMOに次ぐ2位に位置付けています。
 一昔前は「auはオシャレだ」なんてイメージが定着していましたが、ソフトバンク発足以来、毎月発表される契約者純増で低迷を続けており、先日ついに新鋭のイーモバイルにも追い抜かされてしまい純増数は4位にまで落ちてしまいました。そして、「このままではいけない」と言う事で先日2009年8月より音声通話定額を開始すると発表されました。
 でも通話もメールもしない想定で内容を見てみますと……

	au	Docomo	Softbank	e-mobile	Willcom
無料通話	月額380円でau内3件まで	無し	1時～21時迄softbank内で	e-mobile内完全無料	willcom内 [※] 完全無料
基本料金 ※24か月の使用を想定した最も安いプラン	2,100円 無料通話なし	1,800円 無料通話なし	1,234円 1時～21時迄softbank内で	780円 e-mobile内完全無料	2,900円 willcom内完全無料

※発信先件数を3件までに限定すると月額953円になります

見ていただくと分かる通りe-mobileがぶっちぎりで安いですが、地方に行くとすぐに圏外になってしまったりと大きなデメリットもあります。
 主要3キャリアで見るとソフトバンクが頭一つ抜きんでていて、あまりケータイを使わない人はsoftbankが1番安いという事がわかります。
 auとDocomoを比較すると予想外にもauの方が料金が高い事がわかります。昔は学生割などを使えばauは安いというイメージがありましたが、今は学割でも他社に料金で勝つことが出来ないという厳しい状況が続いています。
 今回の無料通話は、よく通話する若いカップルなどをターゲットにしているらしいのですが、私の知る限り長電話するカップルや、通話時間の長い女子高生達は、恋人同士や友達同士willcomを持っている事が多いように思います。
 そうすれば時間・件数制限なく無料なので皆で持てば持つほどメリットは大きくなる訳ですね……
 まだまだauの厳しい状況は続きそうですね。

シスポート
[Sys:port][®]ホームページは <http://www.sysport.co.jp> または【シスポート】で検索!!!

連載 Qinfo 担当者のつぶやき

いつもお世話になります。Qinfo 担当者の倉橋です。
先月に続いて今回もあーだこーだとか書かせていただこうと思います。
次回からはちゃんとした記事を取り上げますので、お付き合いいただければ幸いです。

前回、今の時代はパソコン一つで本当に様々な事が出来るというのに、「ソフト屋さん」という枠組みにしばられ、ホームページの話やドキュメント・スケジュール管理、バックアップ支援など、現代的な要望を避けて通ってきた部分がある。と書きました。
弊社の中でもこのような思いを抱いていたのは私だけではなく、この数カ月間スタッフで話し合いを重ねて“今の私たちに出来るベスト”を模索し続けてまいりました。

その中で1つの答えを導き出しました。

それが“ソフト屋”から“IT屋”への変革です。

業務ソフトを開発・販売するに留まらず、お客様にとって「IT(パソコン)に関する事なら何でも相談する事の出来る存在」

今まで私たちが培ってきた経験を活かし、ITに関するトータルサービスセンターを目指そうということになりました。まさにドラスティックな経営革新です。
そしてそれに伴い弊社のカンパニーカラーであるオレンジ色も変更する事にしました。

シスポーは **[Sys:port]** として生まれ変わり、スタッフ全員で作った経営理念である「お客様にとってほんとうに“いいもの”を提供したい」という想いを実現すべく努力してまいりたいと思います。

また、勝手ながら今回リニューアルされた弊社のカタログを同封させていただいております。
既にシスポーユーザーのお客様も、そうでないお客様も是非、新しいシスポーに触れてみてください!!
これからもどうぞ宜しくお願いします!



わかりやすい!

難しい用語を使わない! IT講座

32ビットと64ビット?

パソコンを買う時に32ビットとか64ビットという単語を聞いた事があるでしょうか?
“ビット”というのはデジタルコンピューターが扱うデータの最少単位なのですが、難しい事は考えずに“32ビット”と“64ビット”という言葉で覚えてください。
現在主流のWindowsXPとVistaには32ビットバージョンと64ビットバージョンが用意されています。XPで64ビットはほとんど売られていないので問題ないのですが、Vistaではちよくちよく64ビットも見かけるようになりました。
「何が違うの?」という感じですが、実はコンピューターの根っこになる所が根本的に違うので大違いだったりします。
よく言われる例ですと「認識できるメモリーに容量が違う」というのがあります。
32ビットでは物理的に3Gちょっとまでしか認識できないのですが、64ビットですとVistaパソコンで最大128Gまで認識できます。
要するに32ビットパソコンで3G以上のメモリーを搭載してもただの“ムダ”という事ですね。

ここまでの話だと「それじゃあ64ビットの方がいいじゃないか」と思いますがそうはいきません。実は、市場に出回っているほぼすべてのソフトウェアは32ビットで作られているのです。ですから、せっかく64ビットの賢いWindowsがあっても、ソフトウェアが軒並み32ビットで作られているので、わざわざコンピューター側で32ビットに合わせて動作させる必要があります。32ビットに変換するというのは、通訳を介して会話をするようなものですので効率が落ちます。結果的にせっかく64ビットマシンで動作させているのに32ビットマシンよりも遅い事も・・・

しかも遅いだけなら良いのですが、全く動いてくれないソフトウェアもあるから困ります。
先日、友人がパソコンを購入しまして、不幸にも友人達の中で「パソコン何でも屋さん」みたいな扱いを受けてる私は、無線LANを使えるようにしたり、無料のウイルス対策ソフトを導入したりと色々な設定をしてあげました。
その時に大手メーカーの無線LANアダプターはインストールできない上に、無料のウイルス対策ソフトもインストールできない・・・と、大変困りました。
私が困るだけなら良いのですが、家電量販店の大手メーカー製品が、当たり前のように64ビットのパソコンを販売している事に非常にビックリしました。
私は仕事上、64ビットのパソコンでも動くソフトを見つけてインストールしてあげることができず、知識を持たない方が知らない間に64ビットパソコンを買ってしまっ、使いたいソフトが動かないなんて事にはならないでしょうか・・・
「私のパソコンは〇〇ビットだ」なんて意識される方はほとんどいないでしょうし、それを意識するだけの知識がある方はパソコンを自作するか、BTOで自分好みのパソコンを発注するような気がします。
杞憂ならいいのですが、皆さんもパソコンを購入する際は注意してくださいね!